

第12期 報告書

証券コード 6629

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

グローバルな「人と社会」に
貢献できる企業であるために



テクノホライゾン株式会社

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
テクノホライゾングループ第12期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチン接種が進展し、政府政策も社会・経済活動の正常化に軸足が移りつつあることで回復の兆しがみられるものの、新たな変異株の出現により感染症の収束見通しが立たないこと、世界的な資源・原材料価格の高騰や半導体調達難及び人手不足等による物流停滞に起因するコスト増、円安による食品やエネルギー等の生活必需品価格の上昇に加え、ウクライナ危機等の地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況のもと、当社グループは、「教育」「安全・生活」「医療」「F A」の重点4市場に対し、当社の基幹技術である「映像&IT」と「ロボティクス」により、持続可能で豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供しております。また、引き続き注力分野の事業強化を目的としたM&Aや、事業の最適化を推進することで、企業価値の最大化を推進しております。

その結果、当社グループの業績は、買収した企業の寄与があり売上高は34,521百万円（前年同期比30.4%増）になりました。一方利益面では、環境悪化に伴う利益率の低下や、人員の増加（前期末比241名増）、M&A手数料の増加（前年同期比197百万円増）及びのれん償却額の増加（前年同期比398百万円増）の影響を受け営業利益は685百万円（前年同期比71.7%減）、経常利益は890百万円（前年同期比64.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は343百万円（前年同期比84.0%減）となりました。

なお、当社グループは市場環境が著しく変化する中で、現在のグループ経営体制をよりシンプルにして経営スピードを加速し、経営資源の一元管理による生産性の向上や経営効率化の推進、収益基盤を強化する必要があると判断し、2021年4月1日付で完全子会社である株式会社エルモ社、株式会社中日諏訪オプト電子及び株式会社タイテックを吸収合併しました。



代表取締役社長
野村 拓伸

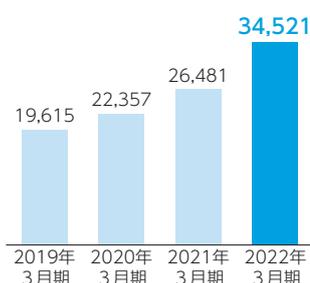
業績ハイライト

売上高

345億21百万円

前年同期比 30.4% UP▲

(単位：百万円)



経常利益

8億90百万円

前年同期比 64.8% DOWN▼

(単位：百万円)

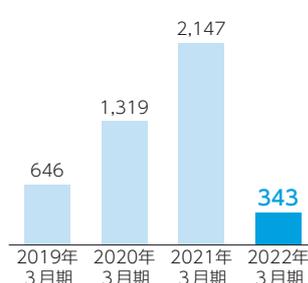


親会社株主に帰属する
当期純利益

3億43百万円

前年同期比 84% DOWN▼

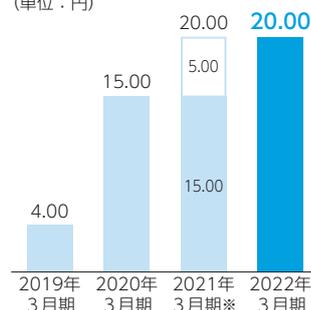
(単位：百万円)



1株当たり配当金

20円00銭

(単位：円)



*普通配当15.00円、記念配当5.00円

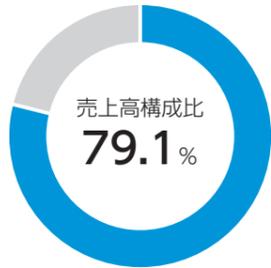
セグメント別概況

映像&IT セグメント



学校教育ソリューション事業
自動車ソリューション事業
セキュリティソリューション事業

オフィス・経営ソリューション事業
医療ソリューション事業
マシンビジョンソリューション事業



売上高
273億22百万円
前年同期比 27.5%増

営業利益
4億61百万円
前年同期比 77.6%減

事業状況

主力である教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売は、国内市場では前期の需要増の反動や競合参入による販売価格の低下により、想定を下回る状況が続きました。一方、欧米市場では通年で堅調に推移しました。業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）においては、堅調な需要に対して1年を通じて半導体等電子部品の調達難であったことにより、予想を下回る結果となりました。このほかに連結の範囲の変更に伴い、海外子会社を中心に売上高の伸長に貢献しました。

営業損益につきましては、グループ入りした子会社が貢献したものの、売上原価が部品価格の高騰等により増加したほか、当社グループの成長のための積極的な投資等により販売費及び一般管理費が増加いたしました。これらの結果、映像&IT事業における当連結会計年度の売上高は27,322百万円（前年同期比27.5%増）、営業利益は461百万円（前年同期比77.6%減）となりました。

ロボティクス セグメント



ロボットソリューション事業
マシンビジョンソリューション事業

セキュリティソリューション事業



売上高
71億99百万円
前年同期比 42.6%増

営業利益
2億00百万円
前年同期比 38.4%減

事業状況

主力であるF A関連機器は、COVID-19の影響からいち早く回復した中国市場を中心に、労働力不足から来る自動化・省力化ニーズが高く、販売強化に注力したことにより海外市場の売上が伸長しました。国内市場は、期初から続くCOVID-19による需要減や半導体等電子部品の調達難が影響して想定を下回りました。

営業損益につきましては、グループ入りした子会社が貢献したものの、当期に実施したM&A手数料を115百万円計上（前年同期比115百万円増）のれん償却額の増加（前年同期比71百万円増）したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

これらの結果、ロボティクス事業における当連結会計年度の売上高は7,199百万円（前年同期比42.6%増）、営業利益は200百万円（前年同期比38.4%減）となりました。

トピックス

テクノホライゾングループの動き

経営戦略アドバイザーとして 5名を招聘

2022年2月、正宗 エリザベス氏、ジェームス アレクサンドル氏、若林 秀樹氏、山中 裕子氏の4名を経営戦略アドバイザーとして招聘し、3月にはアニス ウッザマン氏を追加招聘しました。国内海外の企業経験者の知見を取り込むことでグローバル化の拡大に取り組み、海外事業、ブランディング、人材活用、財務、グループ会社の強化を図り、事業の成長加速につなげます。

正宗 エリザベス氏、アニス ウッザマン氏の2名は、2022年6月29日付で取締役（社外）に就任。



新市場区分における 「スタンダード市場」 選択申請

2021年10月、東京証券取引所の新市場区分への移行につきまして、「スタンダード市場」の選択申請を行うことを決議し、2022年4月4日に「スタンダード市場」に移行しました。

STANDARD TOKYO

指名・報酬委員会の設置に伴う 「内部統制システムの基本方針」 一部改訂

2022年4月、取締役の指名・報酬に係る評価・決定プロセスの透明性及び客観性を担保することにより、取締役会の監督機能の強化、コーポレートガバナンス体制の充実を図るため、任意の指名・報酬委員会を設置しました。これに伴い「内部統制システムの基本方針」一部改訂しました。

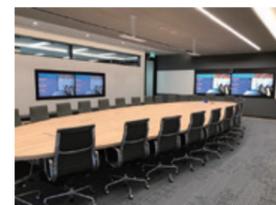
当社子会社による出資に関するお知らせ

2021年11月、アポロ精工が、メキシコ合衆国に設立される「Apollo Seiko Automation Services S de R.L. de C.V.」に出資しました。従来アポロ精工メキシコが外部企業に委託していたシステムインテグレーションの部分を当該会社に取り込むことで、タイムリーな製品投入、新規受注の拡大等を実現し、更なる収益向上を図ります。



当社子会社による子会社及び支店設立

2021年11月、ESCO PTE. LTD.が、ベトナム社会主義共和国に子会社（当社の孫会社）、台湾に支店を設立しました。



アジア株式会社の株式取得（子会社化）

アジア株式会社の全株式を取得し、子会社化しました。アジアが事業を推進する上で培ってきた官公庁への販売や教育ビジネスに関する知見と、当社が有する製品群、営業力やマーケティング力を融合することでのシナジー効果が期待され、両社の将来の持続的な事業発展を進めます。



テクノホライゾングループ ソリューションフェア 2022 in 名古屋 開催

2022年4月26日-27日の2日間、「映像&IT×ロボティクス」で生み出す「サステナブルな社会」をテーマに、グループの最先端技術を結集したプライベートフェアを開催。グループが持つ「映像&IT」と「ロボティクス」の技術で、私たちが実現を目指す「サステナブルな社会」。その実現に向けた取り組みを、事業紹介エリアと7つのソリューションエリアで紹介しました。



教育

SILKYPIX シリーズ各種製品を発売

市川ソフトラボラトリーが、RAW 現像ソフト「SILKYPIX Developer Studio Pro11/11」の各種製品と、JPEG 専用写真編集ソフト「SILKYPIX JPEG Photography 11」を発売しました。



安全 生活

スバル用品向けに 360°ドライブレコーダー提供開始

2022年3月、スバル車両向けの純正商品として、360°ドライブレコーダー「SAA3060370」の提供を開始しました。



Pudu Robotics 「サービスロボット」 サブスクリプションプラン提供開始

2022年2月、リース会社と連携し、Shenzhen Pudu Technology Co., Ltd.のサービスロボットを使ったサブスクリプションプランの提供を開始しました。人手不足や非接触対応が課題となっている飲食業やホテル業、医療・介護関連用途を中心に展開していきます。



医療

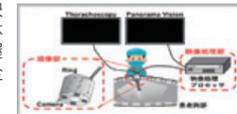
サービス配膳ロボット介護施設への本格展開

2022年2月、飲食店を中心に販売を行っているサービス配膳ロボットの販売を、当社が多くのサービスを手掛ける医療・介護現場にも本格展開を実施し、より一層の介護現場の安心・安全を促進します。



体内を可視化するシステムの開発で 名古屋大学及び愛知工業大学と共同研究を締結

2022年4月、名古屋大学（名古屋市）及び愛知工業大学（豊田市）と、体内内全体を俯瞰して可視化するシステムの共同研究を開始しました。複数のカメラによる患部映像のパノラマ化により、体内内全体を見渡すことで、状態を的確に把握する視野を確保し、より安心・安全な低侵襲手術の実現を目指します。



FA

NVIDIA 社の Jetson Camera Partner

2021年10月、米国 NVIDIA Corporation 社のパートナーネットワークに参画し、Jetson Camera Partner になりました。今後も引き続き NVIDIA Jetson エッジ AI プラットフォームを使用したマシンビジョンソリューションを更に拡充させてまいります。



成形品のゲートカット自動化を実現する 「MONKIRY〜門切〜」発売

2022年1月、アインドが、成形品のゲートカットを自動化するカットの番人「MONKIRY〜門切〜」の販売しました。樹脂成形レンズのゲート部のカット面を綺麗に仕上げることができます。



会社概要

2022年3月31日現在

商号 テクノホライズン株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON CO.,LTD.)
設立 2010年4月1日
事業内容 テクノホライズングループの事業内容は「映像&IT事業」と「ロボティクス事業」に分類され、強いマーケティング力を持って、グローバルな事業展開を推進しています。
所在地 〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551(代)
代表取締役社長 野村 拓伸
資本金 25億円
従業員数 連結1,310名
社内カンパニー エルモカンパニー
ファインフィットデザインカンパニー
タイテックカンパニー
ホームページ <https://www.technohorizon.co.jp/>

役員

2022年6月29日現在

代表取締役社長 野村 拓伸
取締役 浅野 真司
取締役 前田 憲二
取締役 廣瀬 隆志
取締役 口野 達也
取締役 加藤 靖博
取締役(社外) 寺澤 和哉
取締役(社外) 越原 洋二郎
取締役(社外) 正宗 エリザベス
取締役(社外) Anis Uzzaman
常勤監査役 渡邊 哲也
監査役(社外) 原田 彰好
監査役(社外) 飯田 浩之
監査役(社外) 井上 龍哉

株式情報

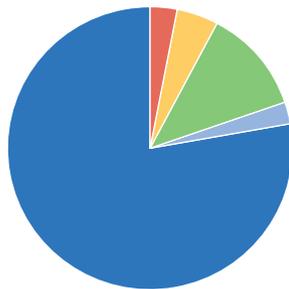
2022年3月31日現在

株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 21,063,240株
株主数 9,837名

所有者別状況

金融機関 691千株 3.28%
金融商品取引業者 949千株 4.51%
国内法人 2,521千株 11.97%
外国法人等 567千株 2.69%
個人・その他 16,333千株 77.55%



(注) 自己株式7,586千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
榑 泰彦	295	2.20
テクノホライズン従業員持株会	286	2.12
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
榑 雅信	254	1.89
楽天証券株式会社	205	1.53
MSCO CUSTOMER SECURITIES	181	1.35
榑 順子	160	1.19
薮ノ 茂生	151	1.12

(注) 1. 当社は、自己株式7,586千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日~翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日
(2) 中間配当を行う場合 9月30日
(3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.technohorizon.co.jp/ir/stocks/koukoku/>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライズン株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551(代)

